政策提言

教育民生委員会

１　学校部活動の地域展開について（学校教育に関する事項）

（１）背景

伊勢市では少子化による部活動の募集停止や、教員の長時間労働が深刻な課題となっている。そのため、国の方針に基づき、生徒が将来にわたり多様なスポーツ・文化活動に親しめる環境を維持するため、令和 13 年度末までに学校で行っている休日の部活動を地域クラブ活動に展開することを目指している。

先進地である埼玉県白岡市での視察では、専門的指導による競技力向上や教員の負担軽減といった成果が確認される一方で、受益者負担による経済的格差、指導者の確保、持続可能な運営体制の構築といった課題も浮き彫りとなった。

これらを踏まえ、子ども第一の視点と教員の働き方改革を両立させた、伊勢市独自の実効性ある受け皿づくりが求められている。

（２）提言

①地域クラブの運営に伴う事務は、会員管理に伴う個人情報の管理や、会計事務等、多岐にわたり、極めて専門的であることから、これらを地域の担い手や現場だけに委ねるのではなく、継続的にサポートする等、持続可能な運営支援を行うこと。

②合同練習や拠点校化によって活動場所が遠方になるケースを想定し、保護者の送迎負担等、移動に対する支援体制を整備すること。

③学校管理外の活動となることで、活動場所や備品の利用に制限や不公平が生じることを避けるためのルールを整備すること。

④経済的理由で子どもたちがスポーツや文化活動を断念することがないよう、受益者負担に対する支援や、公費による補助体制を整備し、活動機会を保障すること。

⑤子どもたちが希望するスポーツ・文化芸術活動を継続できる機会の確保を最優先にするため、多様な種目を地域クラブとして選択可能にする環境を作ること。

⑥地域展開を継続していくためには、専門的な指導者の確保が不可欠であることから、子どもたちの安全管理、さらには人間的成長を支えることができる質の高い指導者を育成できる体制を整えること。

⑦教員の負担軽減を前提としつつ、教科指導や生徒指導に注力できるゆとりある環境を実現し、クラブ活動の指導を希望する教員に対しては、適切に指導に携わることができるよう、兼職兼業に関する環境整備を進めること。

⑧将来的な平日部活動の地域展開を視野に入れ、急激な保護者負担の変化や環境変化が起こらないよう、当初の計画段階から制度設計を行うこと。